

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.1.27

No. 76

高校生就職面接会行われる



昨年に引き続いて大変厳しい就職戦線の中で、まだ就職が決まらない生徒に対してハローワークで今年度は3回にわたり就職面接会を開いていただくことになっています。本校では現在9名の生徒の就職が決まっています。先日25日に第1回の面接会が伊那のハローワーク二階にて行われました。会場が狭いために毎回5社ずつが参加することになっていますが、今回は4社、生徒は7名が参加しました。本校からは3名出席しました。出席した生徒達はそれぞれが2社ずつ面接を受けました。中には是非来て欲しいと言われたものもあり、一人でも多くこの機会に決定してくれることを願っています。

次回は2月8日(火)を予定しています。2回目に参加する企業は<辰宮建設(飯島町) 浅川建設(箕輪町)、清野建設(伊那市)、宮田観光ホテル(宮田村)(女子)>です。第2回目に出席希望者は1月31日までに進路室に申し込んでください。最終回は2月22日です。この2回で決めないと卒業までに進路を決めることが極めて難しくなります。就職未定者は自分からもう少し積極的に動かないと、進路係としても応援できません。まだ進路未決定の者は自宅研修前に必ず進路室へ顔を出してください。

なお2月1日以降に採用が内定されると、その企業に対して国より補助金が交付されるということで、企業にとっても今まで以上に採用しやすい環境となっています。まだ就職が決まらない人はこの機会に是非何とか採用されるようにもう一頑張りして欲しいものです。

大学生就職内定率、過去最低68.8% 昨年12月現在の大学生

今春卒業予定の大学生の就職内定率は、昨年12月1日現在で前年同期に比べて4.3ポイント減の68.8%だったことが18日、文部科学、厚生労働両省の調査で分かった。「就職氷河期」と呼ばれた2000年前後も下回る数字で、調査を始めた1996年以降で最低。学生を取り巻く雇用情勢は依然深刻だ。短大生も2.1ポイント減の45.3%で、同時期では過去最低だった。

前年同期比からの下落幅は昨年10月現在の調査(4.9ポイント減)よりやや持ち直したが、文科省は「改善したとは言えない」としている。

文科、厚労両省は今後(1)卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金拡充(2)中小企業を中心とした就職面接会の追加開催(3)未内定者の保護者に対し、ハローワーク利用を勧めるなどを通して内定率の底上げを図る。

信濃毎日新聞より(1.18)

<進学者対象 進学先卒業時の求人情報提供登録申込早めに提出を!>

私は父や母が苦勞して生きてきた時代を知っていますから、仕事がうまくいかなかったら生きていけなくなるという危機感がありました。ところが若い人たちには厳しかった頃の経験が無く、豊かな時代しか知りません。ですから危機感というか、命がけで生きる姿勢に欠けているような気がしてならないのです。

稲垣篤子『1坪の奇跡』

